電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事名称　　名張市郷土資料館埋蔵文化財センター２階男子・女子便所外改修工事

Ⅱ　工事場所　　三重県　名張市　地内

Ⅲ　建物概要

建物名称	構造及び階数	延面積（㎡）	消施令の適用	備　考
郷土資料館	ＲＣ造３階建て	１９９２．１６㎡	（８）項	

Ⅳ　工事仕様　　＊包含工事の場合、◆印の項目及び事項については元請業者の業務内容に含むものとする。

項　目	特　記　事　項
１．施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 ＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書　最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」　最新版 ＊国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」 ＊電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） ＊電力会社供給約款 ＊消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） ＊電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 ＊その他関連法規、関連諸基準
２．一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
・施工計画等	請負者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 ◆総合施工計画書 ＊詳細施工図（施工図リストを含む） 主要機器、重量機器、３ｋｇ超過吊器具等については固定方法、吊り方法等の詳細図を作図し充分な耐震性能を確保する施工法を提案すること。 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
・工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 ＊使用機材届出書（メーカーリスト） ＊機器明細図（主要機器の耐震計画書、大空間の照度計算書、配光図を含む） ＊カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又はこれらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
◆工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
◆工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第２版）－建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照 ＊全写真をサムネールにて印刷（Ａ４版用紙に両面印刷にて１５枚程度／ページ）　１部 ＊代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。　（Ａ４版用紙に両面印刷にて３枚／ページ）　１部
◆完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に３枚／ページ）１部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
・完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 ◆工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 ◆製本図面（竣工図、施工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 印刷サイズは、原図サイズ及びＡ３縮小版とし、部数は監督員の指示による。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、請負者名」を印字（シール不可）すること。 ◆引渡目録、工事書類預り書 ◆工事書類（工事写真、工事日報、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） ＊工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） ＊完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） ＊官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） ＊その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

項　目	特　記　事　項
・完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。
◆足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省　平成２１年４月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行占用足場方式により行うこと。
◆事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
◆建設副産物	新築増築の延べ面積が５００㎡以上の工事、及び修繕又は模様替えは請負額１億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、請負者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。 計画書及び実施書の提出とともにＪＡＣＩＣが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せておこなう。
・発生材の処理等	引き渡しを要するもの（　　　　　　　　　） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物　□変圧器　□コンデンサ　□その他（　　　　　　　　　） 処理方法　■現場内の監督員の指定する場所へ保管 なお施工に際して、ＰＣＢ等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。　引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェストＡ、Ｅ票の写を監督員に提出する）
◆電子納品	工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 竣工図・施工図のＣＡＤデータ（オリジナルとＤＸＦまたはｐ２１）及びＰＤＦを格納。 機器完成図と取扱説明書のＰＤＦを格納すること。
・諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
・消防提出書類	消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成（電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述）を行うこと。
・既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
・既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
・電気工作物の種類及び電気工事士	・一般電気工作物　⊙自家用電気工作物　・電気事業用電気工作物 ⊙５００ｋＷ以下　・５００ｋＷ以上　・第二種電気工事士　⊙第一種電気工事士
◆電気保安技術者	適用する。（※単独発注工事）
◆工事中の保安管理	新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。
３．耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）耐震安全性の分類 本施設は、構造体（　）類　建築非構造部材（　）類　建築設備（　）類 （６）機器の耐震計算書を提出すること。 重量１ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。
４．機材仕様	（１）盤類 ・銘板には［施工年月］［請負者名］［施工者名］追加記載すること。 ・盤内図面ホルダーサイズ　：　原則Ａ４サイズとする（盤サイズ、盤面取付部品により取付不可能な場合を除く）。なおホルダー内には機器完成図、回路のわかる平面図を備え、改造の場合は既存図面を修正すること。

項　目	特　記　事　項
	（２）ハンドホール ・高さ９００mmを超えるものにあってはタラップ付とする （３）接地極埋設標 ・刻記とする
５．施工	（１）予備線 ・長さ１m以上の入線しない電線管には、１．２mm以上のビニール被覆鉄線を挿入すること。 （２）カバープレート ・原則として新金属製とする。器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 （３）はつり ・既設のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用すること。 （４）再使用機器 ・取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定及び機能確認のうえ取付ける。なお施工前後で比較をおこなえるよう、工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。 （５）電力・電話 ・電力及び電話用引込線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信引込み会社と打合わせのうえ監督員との協議により施工する。 （６）塗装 ・エッチングプライマー１種の下地処理のうえ、指定する色にて調合ペイント２回塗りとする。金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （７）行先表示等 ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 （８）セパレータ ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （９）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ２m以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （１０）地中埋設配管及び埋設表示杭・シート ・配管の埋設深さは、強電＝ＧＬ－７５０、弱電＝ＧＬ－７５０とする。 埋設Wシート、埋設表示杭を布設のこと。 （１１）防火区画等の貫通部は、関係法令に適合し、貫通部に適合した方法で、防火処理を行う。
６．接　地　極	図面に特記無き接地極は、次表の「接地極一覧表」による。

接地の種類	記　号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
・A種	EA	１０Ω以下	EB（D=14，L=1500　又は　W=40，L=1200）×3　連　－　組
・B種	EB	１０Ω以下	EB（D=14，L=1500　又は　W=40，L=1200）×3　連　－　組
・C種	EC	１０Ω以下	EB（D=14，L=1500　又は　W=40，L=1200）×3　連　－　組
・D種	ED	１００Ω以下	EB（D=10，L=1000　又は　W=30，L=900）　×1
・高圧避雷器	ELA	１０Ω以下	EB（D=14，L=1500　又は　W=40，L=1200）×3　連　－　組
・交換装置用	Et	１０Ω以下	EB（D=14，L=1500　又は　W=40，L=1200）×3　連　－　組

項　目	特　記　事　項
７．試験調整	（１）照度測定 ・照度測定個所は照明器具直下、照明器具間、部屋の隅（最も暗い部分）を含みおおよそ部屋面積を等しい面積で分割し分割交点を測定する。測定点数は部屋の大きさ、用途に従い９～５０点程度となるよう測定する。測定に際しては外光（昼光等）の影響を完全に排除しておこなう。なお、測定高さは事務室等は床上７５ｃｍ、体育館競技部分はＦＬとする。詳細は監督員の指示による。
８．その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

工番	平成27年度（　　）第 15011 号	図面名称	電気設備 特記仕様書-1	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	1:100				H27.9	E-01

工事範囲

設備	項目	内容
◎ 電灯設備	電気方式　種別	○単相3線式（200／100V）　◎単相2線式（◎100V ○200V ○（　　　）V）
	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○ポール灯基礎工事
	配線器具	◎特別なものを除き大角型とする
	プレート	◎新金属　○ステンレス　○フルカラー（　　　）
	照明器具	◎蛍光灯の２０W以上、ＨＩＤ器具の安定器は何れも省電力型を優先とする。 ◎パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。
	フロアーコンセント	○アップコン　○収納式（上下可動）　○固定式
	照度測定	◎行う（各居室　3ポイント）　○行わない
◎ 動力設備	電気方式　種別	◎三相3線式（◎200V ○（　　　）V）
	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　◎動力機器の試運転調整
	制御方式	○警報盤　○遠方操作盤　◎現場盤による操作　○中央監視盤による操作
	手元開閉器	○鉄箱　◎樹脂製　○Ａメーター付（3Pノミ）
○ 電灯・動力幹線設備	電気方式	○単相3線式（200／100V）　○単相2線式（200V）　60Hz ○三相3線式（200V）　60Hz
	工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○引込　○引込み工事負担金　○警報設備
	盤類形式	○埋込み型　○露出型　○民間仕様　○盤内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。
	雷サージ保護	○設置（・単相用・動力用）　○設置しない　○ＳＰＤ（低圧用）　○クラスⅠ　○クラスⅡ
	その他	○警報設備　○動力設備
○ 受変電設備	電気方式	○三相3線式　6600V　60Hz　○架空　○地中
	工事範囲	○配管　○配線　○既設キュービクル改造　○既設高圧機器・配線、取替
	操作方法	○手動式　○電気式（・交流・直流）
	型　式	○キュービクル型　○開放型　○屋内　○屋外　○民間仕様
	変圧器形式	○油入　○モールド
	付属品他	○電力ヒューズ（3本）　○フック棒（1本）
	その他	○消防庁認定品
○ 構内情報通信網設備	伝送速度	○100BASE　○1000BASE
	工事範囲	○配管　○配線　○リピータ　○ルーター　○HUB　○スイッチ　○メディアコンバータ ○ファイアーウォール　○時刻同期装置　○ネットワーク管理装置　○無線ＬＡＮ　○機器収納ラック ○ＬＡＮ受け口　○機器取付調整、試験
	ケーブル	○ＵＴＰケーブル　○ＳＴＰケーブル　○光ファイバーケーブル
	受　口（CAT5E）	○壁付　○床付（上下動型（アップ式を含む））
	試験報告書	○各配線の導通試験のデータ提出（減衰値・遅延時間差・伝搬遅延時間・ケーブル長等）
◎ インターホン設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　○ＥＬＶ用配管配線
	種　別	○住宅用　○業務用　○集合住宅　○ナースコール　◎身障者呼出装置
	通話方式	○交互通話　○親子式　○同時通話
	附属機能	○電気錠解錠　○ガス漏れ警報　○非常押釦
	その他	
○ 拡声設備	工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○消防立ち合い試験
	増幅器	○業務用　○非常用　○防災業務兼用型　（　W−　局　ラジオ付）
	同上附属品	○マイク（　本）○ＣＤプレーヤー ○カセットデッキ ○チャイム ○ワイヤレス受信機 ○その他（　　　）
	その他	○　室専用放送設備（増幅器　W−マイク・ＣＤプレーヤー・カセットデッキ・ワイヤレス受信機）
◎ 自動火災報知設備	工事範囲	◎配管　◎配線　◎機器取付　◎消防立ち合い試験
	受信機	Ｐ型　級　回線　○単独　○複合型（防火扉　回線＋ガス漏れ　回線）
	発信機	○総合盤　○単独　○埋込型　○露出型
	ガス漏れ警報設備	○単独　○複合型　○ＬＰＧガス　○都市ガス
	その他	
○ 防排煙設備	工事範囲	○配管　○配線　○機器取付　○消防立ち合い試験
	制御盤	5回線　○壁掛型　○自立型　○複合型
	閉鎖装置	○防火戸用　○防火シャッター用
	その他	

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

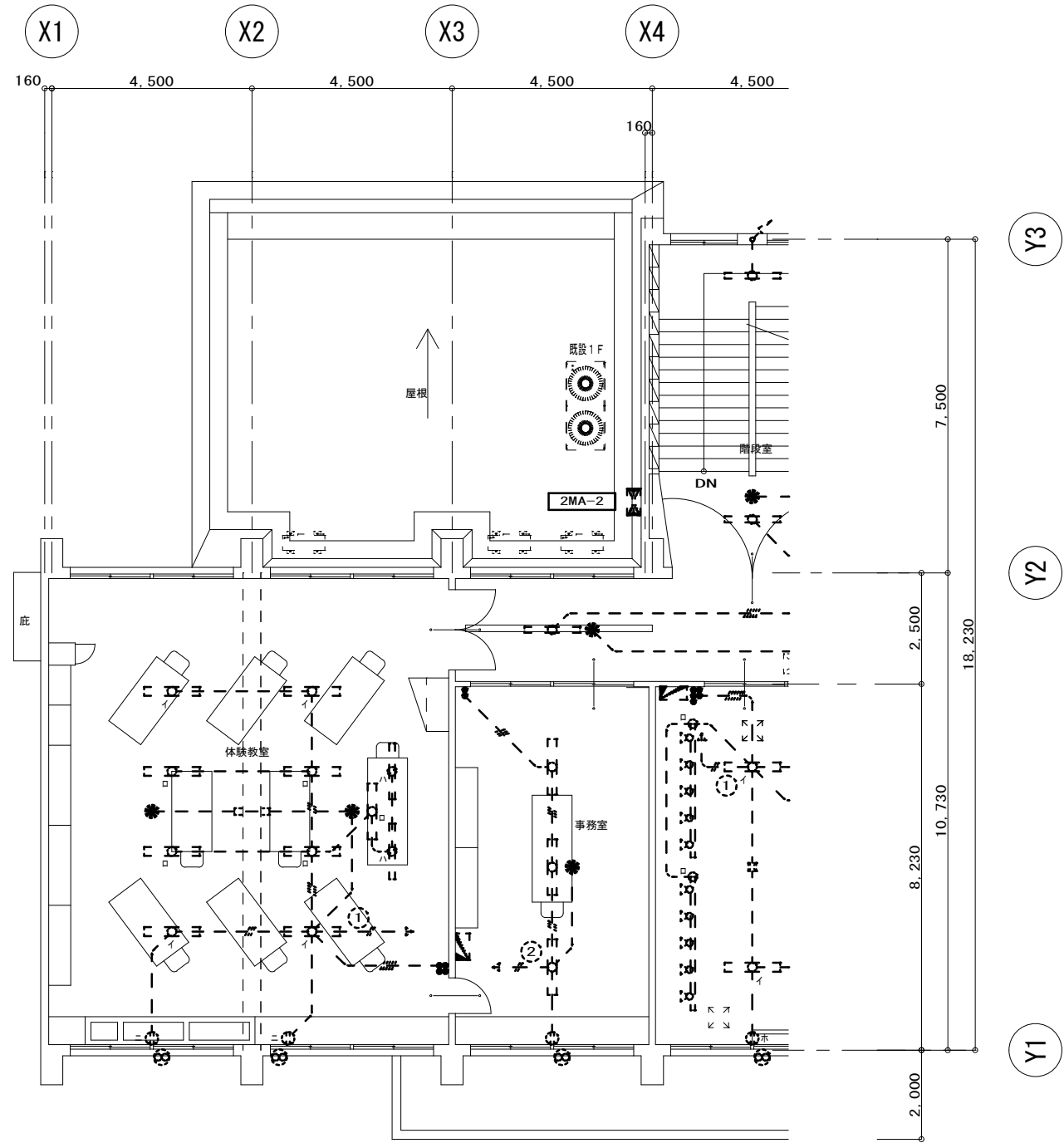
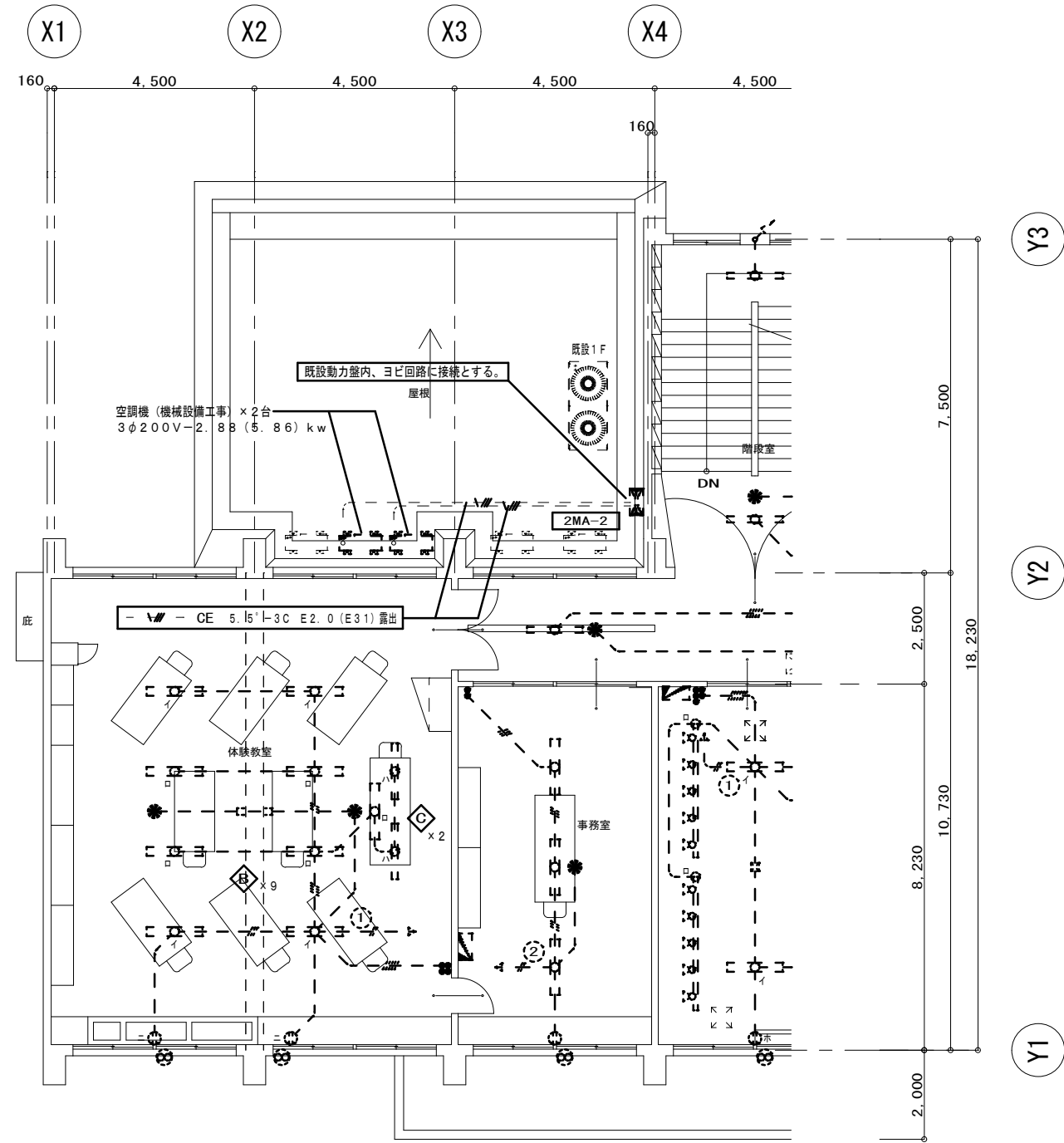
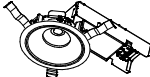
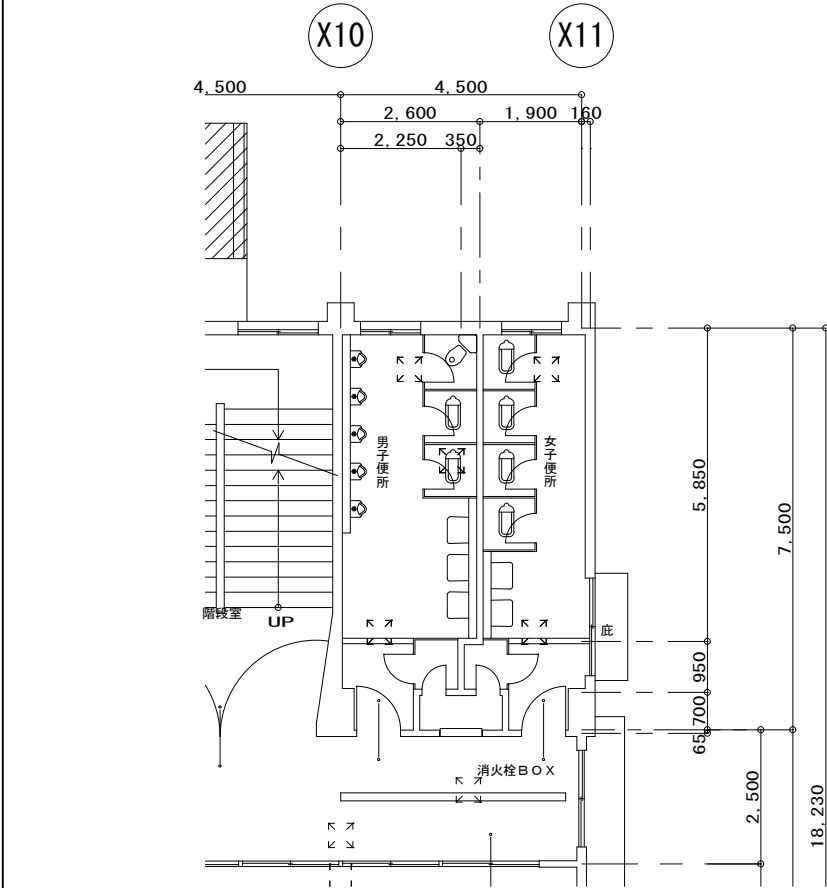
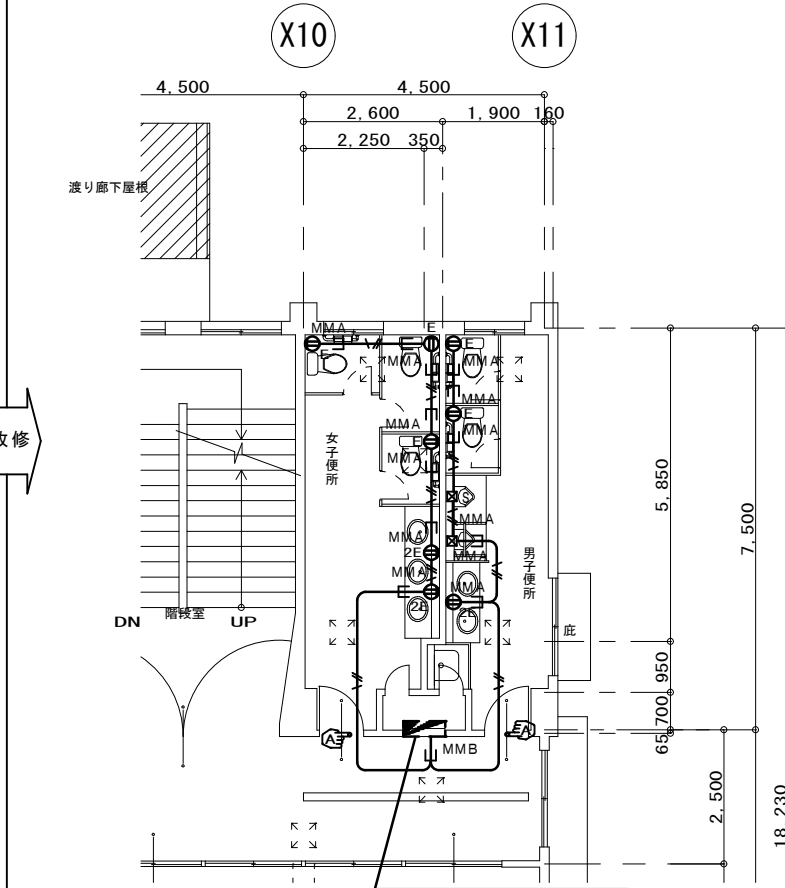
分　類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または評定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（評定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	非常用照明器具		●指定認定機関による型式適合認定または型式部材等製造者認証、を受けたもの ●（社）日本照明器具工業会の自主評定を受け、ＪＩＬ５５０１の適合マークが貼付されたもの
	誘導灯		●登録認定機関（（社）日本電気協会（ＪＥＡ誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
盤類			●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
拡声装置	非常用放送設備	非常用放送設備として使用するもの	●登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		●登録検定機関（日本消防検定協会）の検定を受け、検定合格証票が貼付されたもの

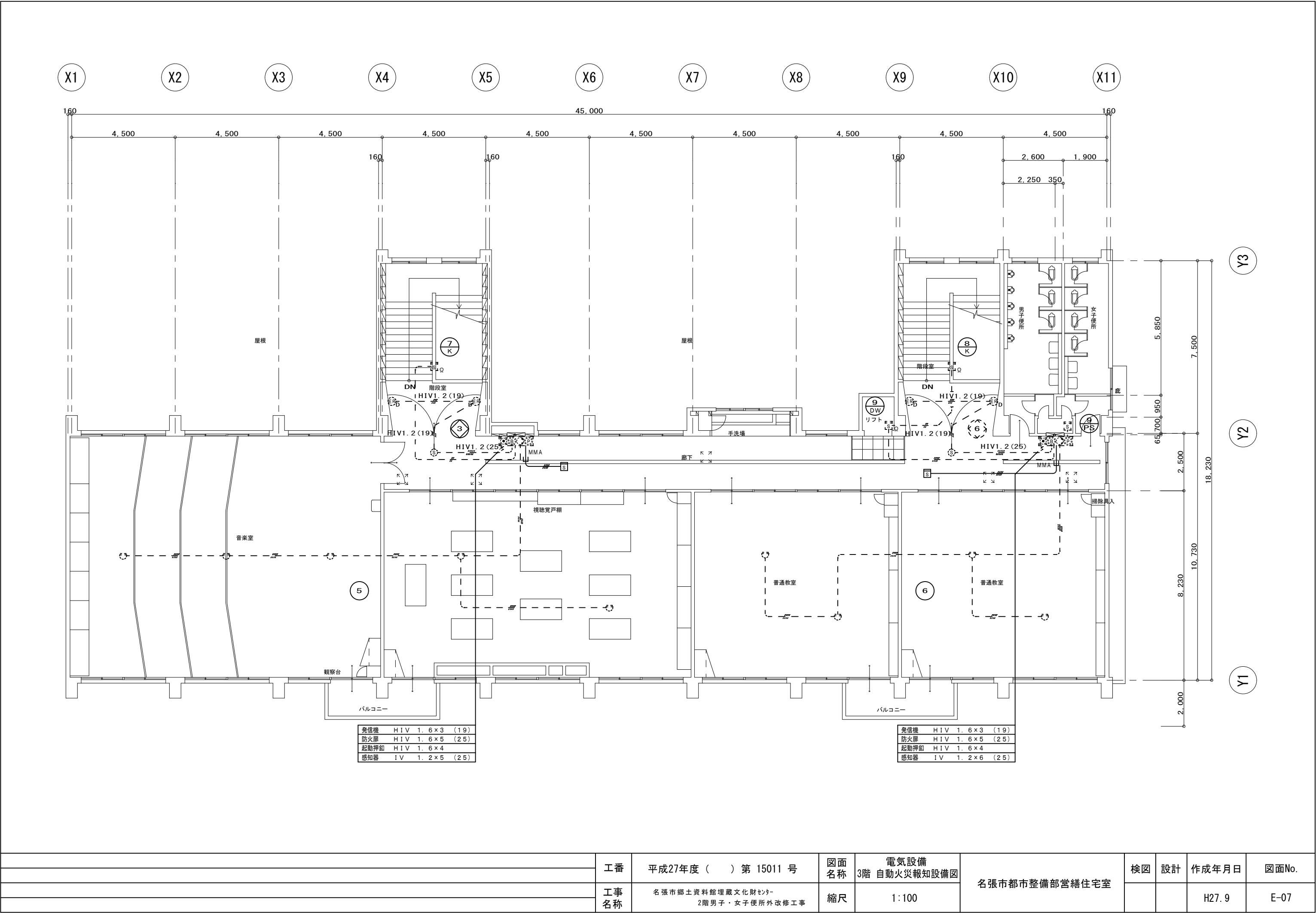
注
- 「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
- 「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備機材機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
- 「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
- 特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

記号	名称	備考
◩	電灯分電盤	盤類結線図参照
⧓	動力分電盤（電灯盤含む）	〃
⧓	動力制御盤（設備工事）	
⏚	接地極	
S	手元開閉器（3PノミAメーター付）	
◎	照明器具　ポール灯又はアリーナ照明	器具姿図参照
	〃　天井取付け	〃
○	〃　〃	〃
	〃　壁付け	〃
○	〃　〃	〃
◎	〃　ダウンライト	〃
●	〃　非常照明（バッテリー内蔵）	〃
⊗	誘導灯（バッテリー内蔵）	〃
⊗	天井換気扇、壁付け換気扇（設備工事）	

記号	名称	備考
● ～	スイッチ　1P15A×1～6	新金属プレート
●L	〃　1P15A（ONピカ・ネーム付）	〃
●3，●4	〃　3W15A、4W15A	〃
⊜，⊜2	コンセント　2P15A×1、2P15A×2	新金属プレート
⊜2E	〃　2P15A．E×2＋E．T	〃
⊜E	〃　2P100V−15／20A＋E．T	〃
▭	端子盤	別図参照
⊙	電話受け口（壁付）6極4心モジュラジャック	新金属プレート
⊙	電話受け口（床付）6極4心モジュラジャック	
Ⓛ	ＬＡＮ受口（壁付）CAT5E	新金属プレート
◎	テレビ受け口（75Ω）	〃

メーカー型番は参考とする。

工番	平成27年度（　　）第 15011 号	図面名称	電気設備 特記仕様書-2	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	1:100				H27.9	E-02

２階　体験教室　平面図（現況）
２階　体験教室　平面図（改修後）
X1
X2
X3
X4
Y1
Y2
Y3
160
4,500
18,230
7,500
2,500
10,730
8,230
2,000
既設１F
屋根
階段室
DN
2MA−2
庇
体験教室
事務室
改修
既設動力盤内、ヨビ回路に接続とする。
空調機（機械設備工事）×２台
３φ２００Ｖ−２．８８（５．８６）ｋｗ
CE　5.5²−3C　E2.0（E31）露出
×2
×9
工番
平成27年度（　　）第 15011 号
図面名称
電気設備
電灯設備図（体験教室）
名張市都市整備部営繕住宅室
検図
設計
作成年月日
図面No.
工事名称
名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ
2階男子・女子便所外改修工事
縮尺
1:100
H27.9
E-03

２階便所　電灯照明設備図（現況）
２階便所　電灯照明設備図（改修後）
２階便所　コンセント設備図（現況）
２階便所　コンセント設備図（改修後）
X10
X11
Y3
Y2
4,500
4,500
2,600
1,900 160
2,250 350
5,850
7,500
950
65,700
2,500
18,230
渡り廊下屋根
男子便所
女子便所
階段室
UP
DN
庇
消火栓ＢＯＸ
改修
既設電灯盤内、ヨビ回路に接続とする。
MMA
MMB
ＬＥＤ　ダウンライト　７．８Ｗ（昼白色）－５５０ｌｍ
消費効率：７０．５　ｌｍ／Ｗ
●本体：プラスチック　バージンホワイト
●下面カバー：アクリル　拡散
●寿命：４０，０００時間
●質量：０．３ｋｇ
◆ＬＥＤダウンライト
東芝　ＬＥＤＤ－０５０２１Ｎ－ＬＳ１　相当品
注１．図中に示す既設器具（実線のみ）の撤去を行うこと。
（点線にて示す器具等は流用とする）
ＦＬ－　４０Ｗｘ１　露出型
スイッチ（埋込型）　１Ｐ１５Ａ×１～６
スイッチ（埋込型）　１Ｐ１５Ａ×１（ＯＮピカ）
コンセント（埋込型）　２Ｐ１５Ａ×１，２
注２．配線図中実線にて示す露出配管、配線及び、既設器具撤去に伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。
ＩＶ　２．０ｘ２　（１９）
ＩＶ　１．６ｘ２　（１９）
ＩＶ　１．６ｘ３　（１９）
ＩＶ　１．６ｘ４　（２５）
ＩＶ　１．６ｘ５　（２５）
ＩＶ　１．６ｘ６　（２５）
注１．図中に示す器具（実線のみ）の新設を行うこと。
（点線にて示す器具等は流用とする）
スイッチ（埋込型）　１Ｐ１５Ａ×１～６
スイッチ（埋込型）　１Ｐ１５Ａ×１（ＯＮピカ）
コンセント（埋込型）　２Ｐ１５Ａ×１，２
熱線センサースイッチ　親機－天井取付
〃　〃　子機－天井取付
小便器センサー用電源を示す。
ハツリ貫通及び補修ヶ所を示す。
注２．配線図中特記なき配管配線は下記とする。
ＥＥＦ　２．０－２Ｃ
〃　２．０－３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）
〃　１．６－２Ｃ
〃　１．６－３Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）
〃　１．６－３Ｃ
〃　１．６－２Ｃ＋２Ｃ（１Ｃ＝ＥＤ）
〃　１．６－２Ｃ＋２Ｃ
ＭＭＡ　メタルモールＡ型保護を示す
工番
平成27年度（　　）第 15011 号
図面名称
電気設備
電灯設備図(便所)
名張市都市整備部営繕住宅室
検図
設計
作成年月日
図面No.
工事名称
名張市郷土資料館埋蔵文化財センター
2階男子・女子便所外改修工事
縮尺
1:100
H27.9
E-04

X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
Y1
Y2
Y3
45,000
160
4,500
9,000
2,250
1,200
2,000
2,500
7,500
2,500
18,230
10,730
8,230
起動押釦 HIV 1.6×3 (19)
防火扉 HIV 1.6×8 (31)
発信機 HIV 1.6×4
感知器 IV 1.2×6 (25)
HIV 1.6× 3 (19)
起動押釦 HIV 1.6× 4
発信機 IV 1.2× 5 (25)
CPEV0.9−30C(39)
発信機 HIV 1.6×3 (19)
防火扉 HIV 1.6×8 (31)
起動押釦 HIV 1.6×4
感知器 IV 1.2×7 (25)
以降厨房棟へ
用務員室
厨房棟へ
保健室
印刷室
男子職員便所
女子職員便所
男子更衣室
女子更衣室
通路
会議室
児童会室
資料室
カウンター
リフト
女子便所
男子便所
洗面化粧台
掃除具入
PS
MMA
HIV1.2(19)
HIV1.2(25)
DN
UP
廊下
以降体育館へ
体育館へ
傘立
下駄箱
担当箱仕込戸棚
スタジオ
校長室
職員室
放送室
昇降口
普通教室
背面ロッカー
画板入
戸棚兼TV置台
CPEV0.9−30C(39)
CPEV0.9−30C(39)
防火扉 FP 1.6−20C(51)
起動押釦 HIV 1.6× 4
発信機 IV 1.2×21 (39)
CPEV0.9−30C(39)
HIV 1.6× 3 (19)
防火扉 FP 1.6−11C(39)
起動押釦 HIV 1.6× 4
発信機 IV 1.2×16 (31)
CPEV0.9−30C(39)
HIV 1.6× 3 (19)
防火扉 FP 1.6−11C(39)
起動押釦 HIV 1.6× 4
発信機 IV 1.2×14 (31)
注1. 図中に示す実線部分の新設を行うこと。
(点線にて示す器具・配線等は流用とする)
差動式スポット型感知器 2種
定温式 〃 〃 1種(防水型)
煙スポット式感知器 2種
※A 既設定温式スポット型感知器1種(防水型)撤去後、
差動式スポット型感知器2種、新設。
注2. 配線図中実線にて示す露出配管、配線及び、既設器具撤去に
伴い不要になった露出配管、配線の撤去を行うこと。
AE1.2−2C(天井内コロガシ)
AE1.2−4C(天井内コロガシ)
MMA メタルモールジングA型にて保護を示す
工番
平成27年度( )第 15011 号
図面名称
電気設備
1階 自動火災報知設備図
名張市都市整備部営繕住宅室
検図
設計
作成年月日
図面No.
工事名称
名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ
2階男子・女子便所外改修工事
縮尺
1:100
H27.9
E-05

工番	平成27年度（ ）第 15011 号	図面名称	電気設備 2階 自動火災報知設備図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財センター 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	1:100				H27.9	E-06

X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
Y1
Y2
Y3
45,000
4,500
160
2,600
1,900
2,250
350
5,850
7,500
950
700
65
2,500
18,230
10,730
8,230
2,000
屋根
階段室
DN
男子便所
女子便所
庇
リフト
手洗場
廊下
HIV1.2(19)
HIV1.2(25)
MMA
視聴覚戸棚
音楽室
普通教室
掃除具入
観察台
バルコニー
発信機 HIV 1.6×3 (19)
防火扉 HIV 1.6×5 (25)
起動押釦 HIV 1.6×4
感知器 IV 1.2×5 (25)
発信機 HIV 1.6×3 (19)
防火扉 HIV 1.6×5 (25)
起動押釦 HIV 1.6×4
感知器 IV 1.2×6 (25)
工番
平成27年度（ ）第 15011 号
図面名称
電気設備
3階 自動火災報知設備図
工事名称
名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ
2階男子・女子便所外改修工事
縮尺
1:100
名張市都市整備部営繕住宅室
検図
設計
作成年月日
H27.9
図面No.
E-07

機械設備工事特記仕様書

◉印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要

項目	内容
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化材センター2階男子・女子便所他改修工事
工事場所	三重県名張市安部田　地内

建物名称	構造	階数	延べ面積	備考
名張市郷土資料館	RC造	3	1992.16㎡	

一般事項

項目	内容
適用仕様書	◉ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 ○ 空気調和・衛生工学会規格　「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ○ 日本建築家協会編　「建築設備工事共通仕様書」 ◉ 所轄水道局 ◉ ガス供給社内規 ◉ 消防関係法規（所轄署指導要綱含む） ◉ その他関連法規
優先順位	1．現場説明事項・質疑応答書　2．本特記仕様書　3．設計図書　4．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う官公署への申請・届出は請負者において行う。これに伴う費用も本工事の含む。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。 施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他請資料を事前に届け出ること。　尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカーの選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等 とりまとめ提出すること。 完成原図1部、青焼A3版2つ製本（文字入、表紙、背共）2部、青焼A2版2つ製本（文字入、表紙、背共）2部、完成図電子データJWW形式CDR1枚
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）一建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。 全写真のサムネールを印刷そたもの（A4版）1部，代表的写真を抽出し，L版相当サイズで印刷（A4版用紙に1ページ3枚）印刷したもの1部
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に処理する。（マニフェストA、D、Eの写しを提出すること） 建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。
その他	工事に必要な又は支障となる既設配管、機器の脱着については、図面に記載なくても監督員の指示により行うこと。 工事着者前に漏水の有無を確認すること、又工事施工後の加圧試験等を監督員の指示により行うこと。

特記事項

- ◎ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。
- ◎ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように　「建築設備耐震設計指針」により施工する。
- ◎ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。
- ◎ 建物導入配管（給水、ガス、消火）は充分な可撓製を有する変位吸収配管施工をおこなう。
- ◎ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。
- ◎ 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両通路部600mm以上とする。
- ◉ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
- ◉ 土間配管は土間筋に吊り下げるなど According 提配管を保持するようにする。
- ◉ 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- ◉ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。
- ◉ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。

共通事項

保温工事

- ◉ 保温施工範囲は共通仕様書による。
- ◉ 保温施工種別
  - ○ 共通仕様書による。
  - ◉ 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー
屋外露出・多湿箇所	ポリスチレンフォーム保温筒	ステンレス鋼板仕上げ
天井・PS内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）

- ◉ 保温厚さ
  - ○ 共通仕様書による。
  - ◉ 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）

	80A以下	100～150A	200A以上
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外・屋内露出のみ）	20mm	25mm	40mm

	25A以下	32～200A	250A以上
冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm

- ◉ 冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。

工事種別

給排水衛生設備	屋外	屋内	空調設備	屋外	屋内
給水設備	○	◉	機器設備		◉
排水設備	○	◉	配管設備		◉
衛生器具設備		◉	ダクト設備		○
給湯設備			換気設備		◉
ガス設備			排煙設備		
消火設備			自動制御設備		
ろ過設備					
浄化槽設備					

工事範囲

◉ 給水設備

項目	内容
◉ 給水方式	○ 水道直結方式 ◉ 高架水槽方式　◉ 市水　○ ○ 圧送方式　○ 圧力タンク　○ 回転数制御
○ 受水槽　本体	○ FRP製：○ 一体型　○ 複合板　○ 単板／○ パネル型　○ 複合板　○ 単板 ○ ステンレス製：○ 一体型　○ パネル型 ○ 鋼板製：○ 一体型　○ パネル型
○ 高架水槽　本体	○ FRP製：○ 一体型　○ 複合板　○ 単板／○ パネル型　○ 複合板　○ 単板 ○ ステンレス製：○ 一体型　○ パネル型
◉ 配管材料	◉ ライニング鋼管　一般：◉ VA　○ VB　○ VD　○ PA　○ PB　○ PD 地中：○ VD　○ PD　○ SUS ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管　一般・地中：◉ HI　○ VP　○ ポリ管 ○ さや管工法　○ 架橋ポリ管　○
◉ 弁類	直結部分：◉ 水道事業者指定品 その他の部分：○ JIS 5 kgf／cm2　◉ JIS 10 kgf／cm2
○ 量水器	○ 貸与品　○ 買取品（私設）
○ 引込加入、市納金等	○ 要　○ 別途工事　○ 本工事 ◉ 不要
◉ その他	◉ ウォーターハンマーが生じる恐れのある配管経路へは有効な防止機器を取付ける ◉ 給水配管（HI）は抜け防止措置を施すこと

◉ 排水設備

項目	内容
◉ 排水方式	屋内：◉ 分流方式　◉ 合流方式 屋外：○ 分流方式　○ 合流方式 雨水：○ 分流方式　○ 合流方式
◉ 放流先	汚水：○ 下水管　○ 浄化槽　○ 合併処理槽　◉ 既存桝 雑排水：○ 下水管　○ 合併処理槽　○ 側溝又は河川　◉ 既存桝 雨水：○ 雨水管　○ 調整池　○ 側溝又は河川　○ 既存桝
◉ 配管材料	屋内汚水管：○ メカニカル形排水鋳鉄管　○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　◉ 耐火被覆ビニル管 雑排水管：○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（可とう継手又はMD継手） ◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　◉ 耐火被覆ビニル管　○ 耐熱性塩化ビニル管（HT） 通気管：○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　◉ 耐火被覆ビニル管 屋外排水管：○ 遠心力鉄筋コンクリート管　（外圧管　○ 2種　○ 1種） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）［150以上］
○ 桝類	○ 公団形（B種）　○ 現場打ち　○ 市販桝　○ 小口径　○ ビニル桝
○ その他	○ 各階に伸縮継手取付

◉ 衛生器具設備

項目	内容
◉ 大便器洗浄方式	○ FV　○ 節水形　○ 低圧形 ◉ 洗浄タンク
◉ 水栓	◉ 節水コマ（泡沫式は除く）　○ 普通コマ
◉ その他	◉ 和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。

○ 給湯設備

項目	内容
○ 給湯方式	○ 中央式　○ ボイラー　○ 温水機　○ ガス給湯器　○ 電気温水器 ○ 局所式　○ ガス給湯器　○ 瞬間湯沸器　○ 電気温水器
○ 配管材料	○ 銅管　（○ M　○ L）　○ 被覆銅管　（○ M　○ L） ○ ステンレス鋼管　○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）［油］　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）［温水］ ○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　○ 内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管［土中、暗渠］ ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管　○ さや管工法　（○ 架橋ポリ管　○　）
○ 燃料	○ 都市ガス　○ LPG　○ 灯油　○ A重油　○ 電気

○ ガス設備

項目	内容
○ ガスの種別	○ 都市ガス　（種別　　発熱量　　kcal／m3） 供給事業者名 ○ 液化石油ガス　（発熱量　12，000kcal／kg）
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ビニル被覆鋼管［地中埋設部］　○ ポリエチレン被覆鋼管［地中埋設部］　○ ポリ管 ○ 都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。
○ ボンベ	○ 別途工事　○ 本工事 ボンベ：（○ 10kg　○ 20kg　○ 50kg　○ バルク　本数（t） 転倒防止鎖等：（○ 本工事　○ 別途工事）
○ 気化装置	○ 要　○ 電気式　○ ○ 不要
○ メーター	○ 貸与品　○ 買取品
○ ガス漏れ検警報器	○ 本工事　○ 別途工事 ○ 一般形　○ 自動遮断弁付
○ 引込納付金等	○ 要　○ 別途工事　○ 本工事 ○ 不要
○ その他	○

○ 消火設備

項目	内容
○ 消火設備の種別	○ 屋内消火栓　○ 屋外消火栓　○ スプリンクラー　○ 泡消火　○ 粉末内消火 ○ 連結送水管　○ 連結散水管　○ 移動粉末消火　○ フード消火　○ 消火器
○ 屋内消火栓箱	○ HB－1A　○ HB－1B　○ HB－2A　○ HB－2B ○ HB－3A　○ HB－3B　○ HB－4A　○ HB－4B　○ S
○ 屋外消火栓箱	○ HB－21　○ HB－22
○ 連結送水管	○ HB－11A．B　○ HB－12A．B
○ 配管材料	○ 鋼管　（○ JIS G 3452　○ JIS G 3454）　◎ 消火用塩ビ外面被覆鋼管（VF）
○ 消火栓弁	○ JIS 10 kgf／cm2
○ その他	○ 消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

○ ろ過設備

項目	内容
○ ろ過方式	○ 砂　○ フィルター
○ 制御	○ 全自動　○ 手動
○ 配管材料	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管　○ 耐熱性硬質塩化ビニル管
○ その他	○

○ 浄化槽設備

項目	内容
○ 方式・容量	○ 合併　○ 単独 算定人員　　人槽　処理水量　　m3／日
○ 材質	○ FRP製　○ コンクリート既製管　○ RC躯体
○ 補強スラブ	○ 要　○ 不要
○ その他	○

◉ 機器設備

項目	内容
○ 設計空気条件（指示なきは建設省建築設備設計基準による）	

＜夏季＞	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件			
室内条件	26．0		

＜冬季＞	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件			
室内条件	22．0		

項目	内容
○ 熱源機器	○ 冷温水発生機　○ チラー　（○ 空冷HP　○ 空冷　○ 水冷HP　○ 水冷） ○ 温水ボイラー　○ 氷蓄熱
◉ 放熱器	◉ EHP　○ GHP　○ FCU　○ ACU
◉ その他	○

◉ 配管設備

項目	内容
◉ 配管方式	◉ 冷媒配管　○ 冷温水配管　○ 冷却水配管　○ 温水配管
◉ 配管材料	◉ 冷媒管：○ 冷媒用銅管　◉ 冷媒用被覆銅管 ○ 冷温水管：○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 冷水・温水管：○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○ 冷却水管：○ ライニング鋼管（○ VA　○ VB）　○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ◉ ドレン管：○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◉ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　◉ 断熱ドレンホース ○ 油管：○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 外面塩ビ被覆鋼管 ○ 蒸気管：○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
○ 弁類	○ JIS 5 kgf／cm2　○ JIS 10 kgf／cm2 呼び径100A以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。
○ その他	○

○ ダクト設備

項目	内容
○ 風道	○ 低速風道　○ 高速風道
○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼板　○ ステンレス鋼板　○ グラスウールダクト　○ 消音フレキ
○ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
○ その他	○

◉ 換気設備

項目	内容
◉ 換気方式	○ 集中換気　◉ 個別換気
◉ 風道	◉ 低速風道　○ 高速風道
◉ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 塩化ビニルライニング鋼板　○ ステンレス鋼板　○ 硬質塩化ビニル管（VU）　◉ スパイラルダクト
○ 吹出口・吸込口	○ アルミニウム製　○ 鋼鈑製（指定色焼付塗装）
○ 耐火被覆	○ 湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
○ その他	○

○ 排煙設備

項目	内容
○ 風道材質	○ 亜鉛鉄板　○ 普通鋼鈑（厚1．6mm）
○ 排煙口	○ 天井取付　（○ スリット形　○ スイング形）
○ 排煙口開放装置	○ 手動　○ 手動及び遠隔操作可能なもの
○ 復帰方式	○ 遠隔形　○ 手元形
○ 排煙風量測定	○ 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
○ その他	○

○ 自動制御設備

項目	内容
○ 制御方式	○ 電子　○ 電気　○ 空気
○ その他	○

メーカーリスト

下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

区分	品目	メーカー
管	継手共	水マーク表示品／WSP表示品／JISマーク表示品／HASS表示品／JPF規格品／SAS規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	JISマーク表示品
保温材	RW・GW保温材	JISマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生器具類	JISマーク表示品　　JIS規格以外：INAX／TOTO
水槽	FRP水槽	積水プラント／日立化成／ブリヂストン／三菱樹脂
	鉄パネル水槽	積水プラント／ブリヂストン
桝	桝類（公団型）	協和コンクリート／桑名工業／昭和工業／ネオジオ／丸八産業
	桝類（塩ビ桝）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品
鋳鉄製品	排水金物	オオタケファンドリー／カネソウ／ダイドレ／中部コーポレーション／南濃鋳工／福西鋳物／ホクキャスト
	鋳鉄製蓋	評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計電機／金門製作所／リコーエレメック
ガス器具	ガス配管器具	伊藤工機／桂精機製作所／藤井合金製作所／富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の承認する製造者の製品
	ガス給湯器（LPG）	「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による証票を付したもの
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所／富士工器／富士電機／松下電工／矢崎総業
厨房機器	厨房システム	評価事業名簿による
濾過装置	濾過機	オルガノ／栗田工業／サンエイ工業／三協／三達ろ過工業／タクマ／理水化学工業
滅菌機	滅菌機	磯村製作所／オーヤラックス／水道機工／日本曹達
消火設備	消火栓類	立売堀製作所／岸本産業／北浦製作所／村上製作所／横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	ノーミ／ニッタン／日本ドライケミカル／能美防災／ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災工業／セコム／日昭・林テクノス／日信防災／ニッタン／能美防災
浄化槽	合併浄化槽（RC造）	神鋼パンテック／ダイキ／東海不二工業／西原ネオ工業／フジクリーン工業／藤吉工業
	合併浄化槽（FRP製）	建設大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	INAX／積水化学工業／ネポン／日立化成工業／松下電器産業／ロンシール
ブロア	ブロア	朝日機工／アンレット／新明和工業／安永
グリストラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ／栗本鐵工所／下田機工／積水プラントシステム
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所／広島鉄工／ベルテクノ／前田鉄工所／前田鉄工所（四日市）／森松工業
空気調和機	パッケージ形空調機	ダイキン工業／東芝／日立製作所／松下電器産業／三菱重工業／三菱電機
	ガスエンジン空調機	アイシン／三洋／三菱重工／ヤンマー
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工／高砂ゴム／特許機器／ブリヂストン／明和ゴム化成
加湿器	加湿器	ウェットマスター／ピーエス工業／山武軽装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	栗田工業／東芝／日立製作所／松下電器産業／三菱電機
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業／新晃工業／トーキン／鍋屋
	風量ユニット	エアコンスター／クボタ／新晃工業／東プレ
ダクト	亜鉛鉄板	JIS規格品
	ステンレス鋼鈑	JIS規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業／栗本鐵工所／泰弘／富士空調工業／フジモリ産業
	フレキダクト	アライ実業／オーツカ／栗本鐵工所
自動制御	自動制御機器	トキメックランディスギア／山武ハネウェル／横河ジョンソンコントロールズ

工番	平成27年度（　　）第 15011 号	図面名称	機械設備 特記仕様書	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財センター 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	N:S				H27.8	M-01

衛生凡例

記号	名称	摘要
	給水管	埋設・一般：水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
		立上り：水道用硬質塩ビライニング鋼管（ＶＡ）
	汚水管	埋設・露出：硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
		その他：耐火二層管（ＴＭＶＰ）
	雑排水管	埋設・露出：硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
		その他：耐火二層管（ＴＭＶＰ）
	通気管	埋設・一般：硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
R	冷媒管	一般：冷媒用保温付被覆銅管
D	ドレン管	一般：硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
	換気ダクト	一般：スパイラルダクト（ＳＤ）
	撤去配管	
	既設配管	
GV	仕切弁	
	給水栓	
	フラッシュ弁	
	床上掃除口	

空調機器表

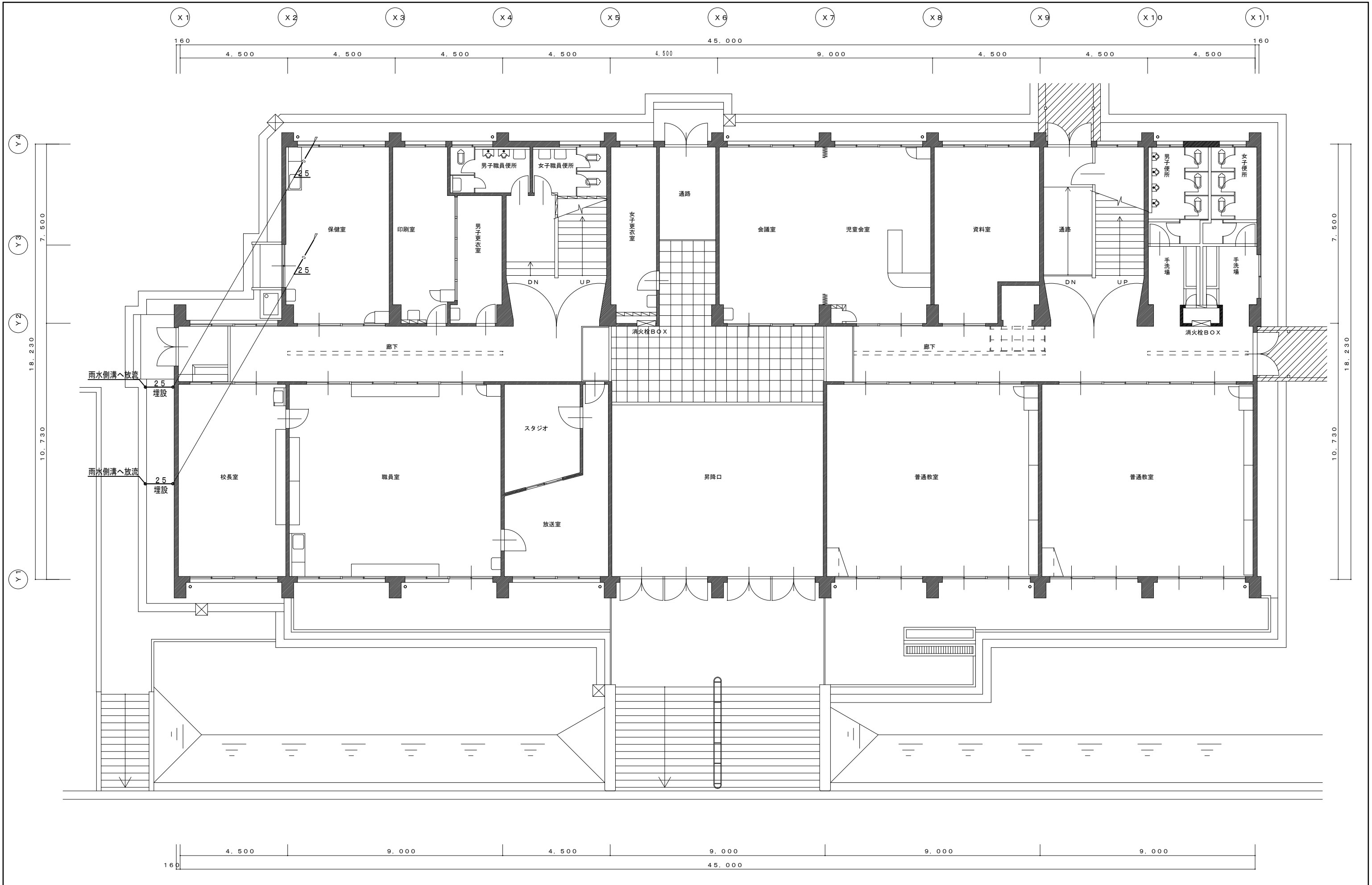
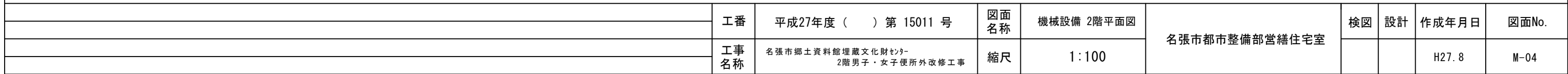
記号	機器名称	形式・仕様		電気容量 相（φ）	電圧（V）	圧縮機（kW）	送風機 内（kW）	送風機 外（KW）	台数	設置場所
ＡＣＰ－１	パッケージエアコン	形　式	天井吊下げ形	３	２００	２．１	０．１６	０．０６Ｘ２	２	２階体験教室
		冷房能力	１０．０（４．３～１１．２）　kW							参考品番：ＰＣＺ－ＥＲＰ１１２ＫＨ
		暖房能力	１１．２（４．５～１４．０）　kW							
		冷房消費電力	２．８８　kW							
		暖房消費電力	３．０５　kW							
		低温暖房消費電力	５．８６　kW							
		付属品	ロングライフフィルター，リモコンスイッチ							
			他付属品共							
		基　礎	市販コンクリート架台							

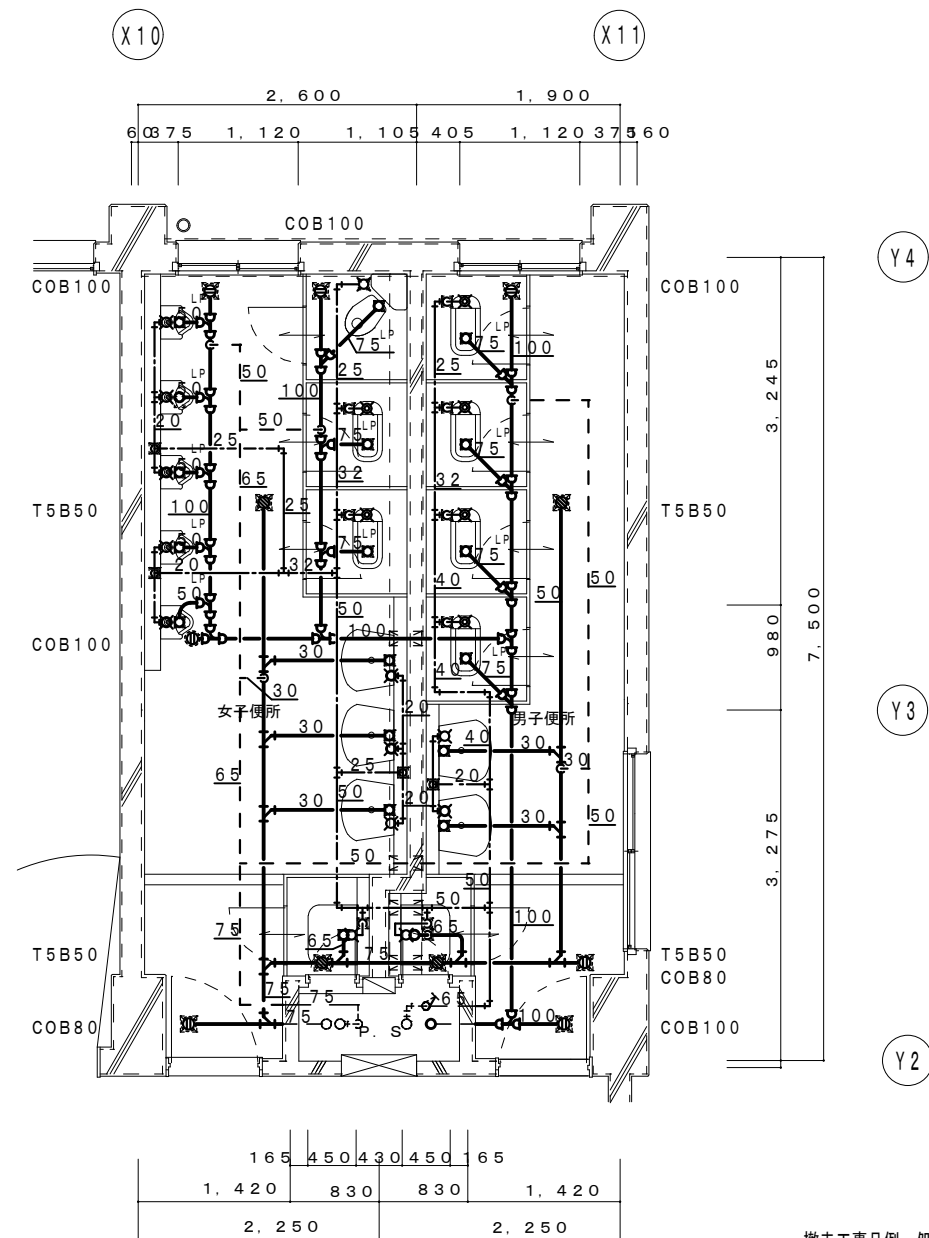
注記　運転特性、能力はＪＩＳ条件による。電源容量値は参考とする。
室外機－室内機間の２次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。
空調機トップランナー基準改定に基づく。
冷媒ガスは破壊係数ゼロとする。
空調機は省エネタイプを仕様すること。
室外機、室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。
機器は同等品以上とする。

衛生器具表

名称	参考品番（ＴＯＴＯ）	参考品番（ＬＩＸＩＬ）	合計	2階 男子便所	2階 女子便所
洋風便器	ＣＳ５９７ＢＳ，ＳＨ５９６ＢＡＲ，ＴＣＦ５８５（温水洗浄便座，擬音装置付），ＹＨ７０２（二連紙巻器）	ＢＣ－Ｐ２０Ｓ，ＤＴ－ＰＡ２５０，ＣＷ－ＰＢ１１Ｆ－ＮＥ（自動洗浄便座，擬音装置付），ＣＦ－６３ＨＳＴ（２連紙巻器），ＣＦ－００８－１	２	１	１
洋風便器	ＣＳ５９７ＢＳ，ＳＨ５９６ＢＡＲ，ＴＣＦ１１６（暖房便座），ＹＨ７０２（二連紙巻器）	ＢＣ－Ｐ２０Ｓ，ＤＴ－ＰＡ２５０，ＣＦ－１８ＡＬＪ（暖房便座），ＣＦ－６３ＨＳＴ（２連紙巻器）	３	１	２
Ｌ型手すり	Ｔ１１２ＣＬ９　，固定金具共	ＫＦ－９２０ＡＥ７０Ｄ１２　，付属固定金具共	５	２	３
センサー一体型小便器	ＵＦＳ９００	Ｕ－Ａ５１ＡＰ	２	２	
小便器用手すり	Ｔ１１２ＣＵ２，固定金具共	ＫＦ－７０１ＡＥ，付属固定金具共	１	１	
はめ込み洗面器	Ｌ５４６Ｕ（洗面器実容量８．５Ｌ），ＴＥＮ４１Ａ（自動単水栓），Ｔ７ＳＷ１，ＴＳ１２６ＢＲ（水石鹸入れ）	Ｌ－２２６０（洗面器容量８．０Ｌ），ＡＭ－２００Ｖ１（自動水栓），ＬＦ－２６０ＳＡＣＵ，ＫＦ－２４Ｆ（水石鹸入れ）	５	２	３
カウンター（２方向）	ＭＬ５５Ｒ（オニックス）　Ｌ＝２２００　ブラケット架台共　Ｒ加工共　洗面器３組取付	ＭＢ－６００ＳＲ（シークレスト）Ｌ＝２２００　ブラケット架台共　Ｒ加工共　洗面器３組取付	１		１
カウンター（２方向）	ＭＬ５５Ｒ（オニックス）　Ｌ＝１５００　ブラケット架台共　Ｒ加工共　洗面器２組取付	ＭＢ－６００ＳＲ（シークレスト）Ｌ＝１５００　ブラケット架台共　Ｒ加工共　洗面器２組取付	１	１	
大型鏡（４方フレーム）	ＭＭＡ６Ａ２１９８Ａ１０００Ｗ	ＫＦ－Ｗ１０９９Ｈ１０００ＡＬＸ２（分割），ＫＦ－Ｗ２１９８Ｈ１０００Ａ（ヨウシホウレール）	１		１
大型鏡（４方フレーム）	ＭＭＡ６Ａ１４４８Ａ１０００Ｗ	ＫＦ－Ｗ１４４８Ｈ１０００ＡＬ	１	１	

衛生器具の器具及び色は監督員と協議の上決定する事。　数量は参考の為図面確認をおこなう事。

工番	平成27年度（　）第 15011 号	図面名称	機械設備 器具機器表	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	N:S				H27.8	M-02

工番	平成27年度（　）第 15011 号	図面名称	機械設備 1階平面図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財センター 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	1:100				H27.8	M-03

改修前

改修後

※衛生器具・水栓・鏡の撤去は建築工事とする。
※掃除流し：現状確認の上傷等が少な器具を取外し
他は建築工事にて撤去の事。（監督員確認の上）

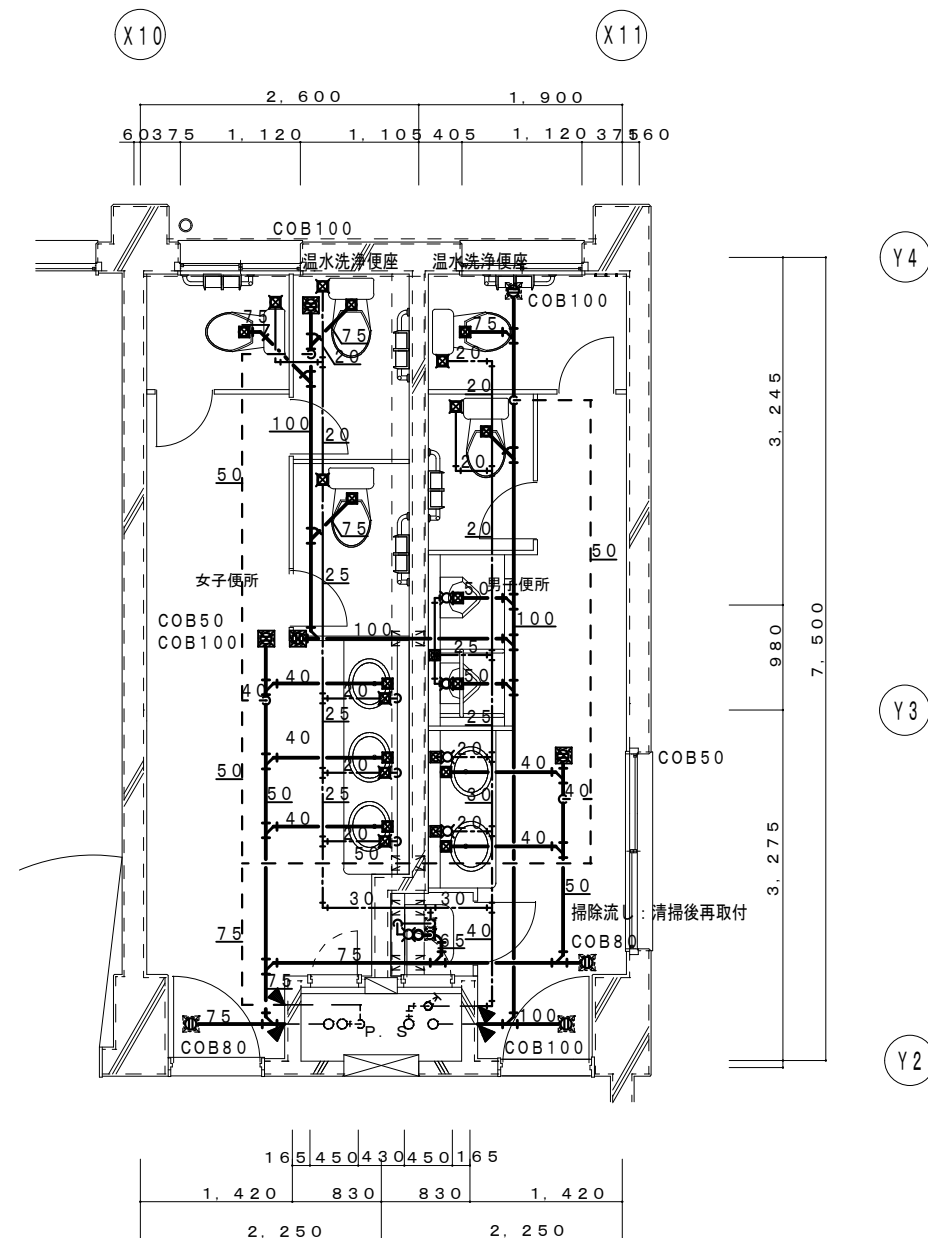
2階便所　平面詳細図　1：50

撤去工事凡例：処分共

――――	今回撤去工事を示す。
―　―	既設を示す。
⌐ ¬	既設貫通箇所を示す（手はつり箇所）

撤去配管リスト

給水管：硬質塩ビライニング鋼管
汚水管：メカニカル型排水用鋳鉄管
雑排水管：硬質塩化ビニル管
通気管：硬質塩化ビニル管
器具接続：排水用鉛管

※注記
既設配管サイズ，ルートは参考とし現場確認の上施工の事。
仕上げ，天井解体復旧工事は建築工事とする。

2階便所　平面詳細図　1：50

改修工事凡例

――――	今回施工工事を示す
―　―	既設を示す
◀	既設配管接続箇所を示す
⊠	コア抜き貫通箇所を示す
⌐ ¬	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。
土間，床，天井，側溝等の解体復旧等は建築工事とする。
※今回改修工事にあたって，施工上当然と思われる工事は本工事に含む。

工番	平成27年度（　　）第 15011 号	図面名称	機械設備 2階平面詳細図	名張市都市整備部営繕住宅室	検図	設計	作成年月日	図面No.
工事名称	名張市郷土資料館埋蔵文化財センター 2階男子・女子便所外改修工事	縮尺	1:50				H27.9	M-05